

# HACO/notAlone Fukuoka 地域患者支援について



灰 来 人  
は いらいと

## HACOにおけるHIV陽性者支援

HACOでは来館者にHIVのステイタスを聞くことはない

- ただし、相談があった場合には、スタッフが個別に相談対応
- 本人の希望が無い限りHACOの他のスタッフとは情報共有はしていない
- 直接的な患者支援は陽性者交流会で行っている

## notAlone Fukuoka HIV陽性者交流会

- HIV陽性者の有志と共に2013年に発足
- 福岡市内のカラオケボックスで定期開催
- コロナ禍などの時期を除き通算68回開催、のべ235名が参加



## notAlone Fukuoka HIV陽性者交流会参加者アンケートより

## ●「有意義だった」との回答が97%以上

## 3つの具体的な効果

## 孤立の解消

- これまで自分が話せなかったことも話せた
- 病院以外で病気の話をはじめてした
- 初めて自分と同じ病気の方たちとお話できて、よかったです
- 参加できてつながりが戻ってきたかなと思います

生きた情報の  
獲得

- 予防の話は多いが、発覚後の現実的な体験に基づく話はなかなか聞けないので、非常にためになった
- 自分で思っていた知識が、他の方の話を聞くことで間違っていないと確信できた

自己肯定感  
の回復

- 自分が一歩踏み出せるきっかけになりました
- HIVが特別な病気ではない=気安め、と思っていたが、みなさんの経験談を聞いて実感できた
- Sexに関しても、少しオープンな気持ちになれました。

## 交流会での課題

### ゲイ・バイセクシュアル以外の層にリーチできていない

毎年6月は  
女性限定会

- 2019年に設定以来、申込み・参加者=0

- スタッフに女性HIV陽性者がいない
- 女性陽性者の場合、育児・家庭・身バレのリスク等の多重のスティグマが参加を躊躇させている

9月・3月は  
セクシュアティ  
フリーの会

- 結果的にMSM中心。ヘテロ男性・女性等の参加がない

- 「混ぜる」配慮が、逆に萎縮させているのかもしれない

考えられる  
共通の原因

### マイノリティの中のマジョリティの中のマイノリティ

- MSM層が多数派であるため、他の属性の当事者は「あそこは自分の居場所ではない」と心理的な壁を感じてしまうのではないか

## 交流会での対応困難事例

### 墓地探しのための見学付き添い依頼

#### ● 本人と亡くなった母親の墓地・納骨場所見学の付き添いの依頼

- 70代ゲイのHIV陽性者
- 病院MSWからの相談

#### 状況

- 介護は不要だが、長距離は疲れるので休み休み行く必要がある
- 認知症ではないが、会話に若干の配慮が必要
- ケアマネジャーを信用していないので頼みたくない
- ヘルパーさんと業務上のお付き合い以外、誰とも交流がない
- ゲイの世界の影の部分ばかり見てきたので付き合いはない
- 墓地とは未契約なので、契約時の立会依頼が予想される

#### 懸念点

- スタッフのマンパワー、時間的、経費的な対応の限界
- 契約の付き添いまで必要となった場合、  
専門知識の不足、法的責任の所在等の限界

# HACOでの対応成功事例

## 海外からの旅行者への対応

- 空港で持参した抗HIV薬を紛失し、HACOへ助けを求めて来館
- 旅行で来日したばかりのゲイのHIV陽性者

### 状況

- 日本滞在は1週間を予定
- 本人は不安感からかなりの動揺が見られた

### 対応

- 災害時等でHIV治療薬の入手が困難な場合には、服薬の一時中断は問題ないことは分かっていたが、確認のため九州医療センターに電話（時間外で不通）
- 九州医療センターの南医師にメールで問い合わせ
- 1週間程度なら中断しても問題ないことを確認。
- 本人には旅行をそのまま続行し、帰国後に主治医に相談すれば良いと伝えた。
- 相談者本人は、日本の専門医の助言が得られたことで安心し、旅行を続行することができた

## まとめ

### コミュニティーセンターや交流会の存在意義

- HACOでは来館者のHIVステイタス確認を行わず、  
安心できる相談環境を提供
- 医療機関など他機関との連携が重要
- 当事者主体の「安心・安全な場」は、  
孤立解消と自己肯定感の回復に効果がある。
- 交流会は、参加者が0人であっても「そこに場がある」ことが、  
潜在的な陽性者の心理的セーフティネットとなる。

### 課題

- 女性・ヘテロセクシュアル陽性者など、多様な層へのアプローチ
- ボランティアベースでの活動では、  
マンパワー・専門性・責任範囲の限界